

## 作業手順書(火気を生じる作業)

作業内容		投光器		班
作業人員	1名			メンバー
使用機械				
使用道具				
使用材料				
保護具	ヘルメット・革手袋			
資格				
特記事項	冬季期間(11月から3月)は空気が乾燥しているので火の元には特に注意する			
作業	番号	作業手順	安全ポイント(急所)	危険有害要因
準備	1	服装・保護具の点検確認	作業着・作業靴・ヘルメット・革手袋	裂傷・打撲・火傷
	2	器具の確認	コードの破損、各部ボルトゆるみ、グラつき確認、電球(ハロゲン球)	感電、漏電、引火
	3	水濡れ、雨濡れの確認	濡れ手の有無確認	故障、感電
	4			
	5			
	6			
	7			
本作業	1	器具の設置	落下防止、固定状況の確認	落下による破損、怪我、火災
	2	コードを差す	濡れ手の有無確認	感電、漏電
	3	スイッチを入れる	濡れ手の有無確認	故障、感電
	4	投光状態の確認	定期的確認	高温、熱伝導による火災の発生
	5			
	6			
後始末	1	スイッチを切る	温度に注意	高温による火傷
	2	コードを抜く	電源オフの確認	故障、漏電、火災の発生
	3	コードを巻く	コード放置によるつまづき	つまづきによる転倒
厳守事項				